

都市再生整備計画 事後評価シート
久留米市大善寺地区

令和7年9月

福岡県 久留米市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	久留米市		地区名	久留米市大善寺地区			面積	54ha					
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	95.5百万円		国费率	0.50						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		【道路】駅前広場整備・道路改良等3路線 【地域生活基盤施設】自転車駐車場整備等											
			提案事業		なし											
			事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業		基幹事業		【道路】道路改良等3路線 【地域生活基盤施設】自転車駐車場整備等				用地交渉難航により本計画期間での事業完了に至らなかったため。				削除した事業については、次期計画で実施予定であるため、目標や指標等への影響はない。			
			提案事業		なし											
	新たに追加した事業		基幹事業		なし											
		提案事業		なし												
交付期間の変更		当初		-		変更		-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値								
	指標1	大善寺駅乗降客数の維持	人	1,215,000	H29	1,215,000	R6	-	1,239,000	○	あり	なし	東口駅前広場整備が完了したことにより、西鉄大善寺駅の送迎車等の混雑が解消し、駅利用者の利便性が向上した。評価年度であるR6年度においては、日乗降客数3,400人を超えており、目標値を達成することが出来た。			
	指標2	居住誘導区域内の人口密度維持	人	56.7	H31	56.7	R6	-	57.9	○	あり	なし	安心安全なまちづくりに向けて、家屋倒壊等氾濫想定区域が指定されたことにより、居住誘導区域が見直されたことで評価年度の人口密度が増加した。			
指標3							-			あり	なし					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値								
	その他の数値指標1						-									
	その他の数値指標2						-									
その他の数値指標3						-										
4)定性的な効果発現状況																
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-							
	住民参加プロセス	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				0							
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

久留米市大善寺地区(福岡県久留米市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 地域生活拠点として相応しい魅力あるコンパクトな拠点市街地を形成し、鉄道を活かした他拠点とネットワークする都市構造の実現	大善寺駅乗降客数の維持	人	1,215,000 H29	1,215,000 R6	1,239,000 R6
	居住誘導区域内の人口密度維持	人	56.7 H31	56.7 R6	57.9 R6
目標1 駅周辺における安心安全な広域拠点整備による住みやすいまちづくり					
目標2 快適な生活環境の充実や、各施設へのアクセス向上による住み続けたいまちづくり					



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・大善寺地区は、久留米市立地適正化計画にて掲げている居住誘導区域の人口維持を指標としており、計画期間の指標はクリアしている。 ・今後も人口を維持していくには、地域生活拠点および特急停車駅としてのポテンシャルを活かすために公共交通の利便性向上とコンパクトな市街地形成が必要となってくる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画にて、大善寺駅東口駅前広場の道路拡幅を行い、ロータリー内の送迎車と通行車の混雑が緩和され、利便性が向上した。 ・当地区は、大善寺駅を中心に市街地形成しており、自転車や車、バス等様々な交通手段で駅へアクセスしている状況である。各動線の安全確保等に対応し、円滑な乗り継ぎを実現するために駅前広場や道路整備、自転車駐車場整備に引き続き進めていく。